

タイトル	匿名の友達
ポーランド語のタイトル	Anonimowi przyjaciele
テーマ *	c
名前	ガブリエラ シェミエンコヴィッチ
ポーランド語の名前	Gabriela Siemienkiewicz
学校名 * 2	ワルシャワ大学日本学科
学年	修士1年生

皆さんは、実際に会ったことのないインターネット上だけの 友達をどう思いますか。「そんなの友達とは呼べないよ」と思った方、 どうぞ私のスピーチを最後まで聞いてから、 もう一度考えてみてください。

私は以前、友達が一人もいませんでした。誰かに心を開きたいと思っても、引っ込み思案の私は、知らない人と話すことができませんでした。だから長い間ずっと一人で、寂しいと感じていました。「なぜ私は友達ができないの？ 友達がいないのはかっこ悪いんじゃない？ 恥ずかしいんじゃない？」と思い悩み、私の自尊心はどんどん傷ついていきました。ひとりぼっちの私は誰とも話せずに、深い孤独の中、明るい未来の希望までをも捨てました。

しかしある時、「もう耐えられない！」と思い、ネットで自分のブログを始めました。そこで日記のように、自分の考えや気持ちなどについて書いて、自分自身を表してみることにしました。普通、日記というのは、人の目に触れないようにするものですが、私は逆に、勇気を出して、心の中のものを皆に見せるようにしました。

ブログで私は次のように書きました。

「私の気持ちや考えは、誰も分かってくれないと思う。この広い世界に、私は一人ぼっちだ。長い間ずっと話し相手もいない。たまにこの孤独が永遠に続くのではないかと思うと、ぞっとする。」

すると驚いたことに、すぐにエストニア人の子が、「わたしも同じ気持ちです」とコメントをくれたのです。次にアメリカ人の子、さらにイタリア人の子と、どんどん世界中の人が私の悩みに共感してくれました。「同じ悩みを抱えていたけど、今は幸せだよ。あなたもきっと幸せを見つけられるよ！」とか「永遠に続くと感じてるみたいだけど、そんなことないよ。そのうちいいこともあるって。」とか「同じ悩みを持つ人がいて救われました。希望を失わずに、お互い頑張りましょう」など。私はものすごくびっくりしました。「一人じゃないんだな」と、心から安心しました。この、名前も知らない人たちが私を助けてくれたのです。私のブログを読んで、考えを共有してくれる人がいる。そのおかげで未来も怖くなくなり、寂しさも消え始め、友達もでき始めました。

皆さん、世の中、社交的な人ばかりではありません。目の前の人と話をするのが苦手な人もいます。だから、このような人たちの気持ちをおろそかにしないで下さい。この新しいネットを通じた友情にも、ぜひ心を開いて下さい。最後に、ちょっと引っ込み思案の皆さん、寂しくても諦めないで下さい。自分の幸せのために努力すれば、きっと楽しい未来が開けるはずです。